

令和4年3月30日

市政記者各位

福岡市美術館

## 特別展「ミナ ペルホネン／皆川明 つづく」を開催！

福岡市美術館では、4月23日（土）より「ミナ ペルホネン／皆川明 つづく」を開催します。ミナ ペルホネンは、デザイナーの皆川明（1967-）が設立したブランドです。流行に左右されず、長年着用できる普遍的な価値を持つ「特別な日常服」をコンセプトとし、オリジナルの生地からプロダクトを生み出す独自のものづくりを続けてきました。

本展では、生地や衣服、インテリア、デザインの原画、映像など創作の背景を浮き彫りにする作品群や資料も併せて展示いたします。

本展の広報にご協力くださいますようお願いいたします。

特別展

## ミナ ペルホネン／皆川明 つづく

会期	令和4年4月23日（土）～令和4年6月19日（日）
会場	福岡市美術館 2階特別展示室
開館時間	午前9時30分～午後5時30分（入館は閉館30分前まで）
休館日	毎週月曜日
観覧料	一般1,600円、高大生1,000円、小中生600円 ARTNE チケットオンライン ( <a href="https://artne.jp/tickets">https://artne.jp/tickets</a> )、 ローソンチケット（Lコード 81666）他で発売中

※展覧会の詳細は特設サイト (<https://mina-tsuzuku.jp>) をご覧ください。

## 関連イベント

福岡市美術館での開催を記念して、下記イベントの開催を予定しています。

○開幕記念トーク 皆川明×田根剛(建築家) 日時：4月23日（土）14:00～15:30

○ワークショップ「自分でつくる 自分だけの柄」

講師：田中景子(ミナ ペルホネンテキスタイルデザイナー) 日時：5月14日（土）①10:30～12:00 ②13:30～15:00

○クロストーク 皆川明×中村好文(建築家) 日時：5月15日（日）14:00～15:30

会場：福岡市美術館 ミュージアムホール(トーク)、アートスタジオ(ワークショップ)

※要事前申込(応募者多数の場合は抽選)。予約方法は、特設サイト (<https://mina-tsuzuku.jp>) をご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組みながら開館しております。

※来館時にはマスクの着用、手指の消毒等にご協力ください。

## 【問い合わせ先】

経済観光文化局 美術館 学芸課 (担当：忠、正路) TEL:092-714-6051



本展ポスター画像

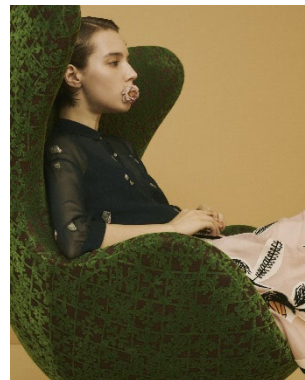


photo: Mitsuo Okamoto

# ミナ ペルホネン / 皆川明 つづく minä perhonen / minagawa akira TSUZUKU 23rd April — 19th June, 2022

Venue: Fukuoka Art Museum Closed: Mondays Opening Hours: 9:30-17:30 (Tickets available until 30 minutes before closing.)

Admission: Adults 1,600yen(1,400yen) / High school and college students 1,000yen (800yen)

Elementary and junior high school students 600yen (400yen) ※( )=Advance tickets

Organize by: Fukuoka Art Museum / The Nishinippon Shimbun Co., Ltd. / TVQ Kyushu Broadcasting Co.,Ltd.

With the planning cooperation of: The Asahi Shimbun With the support of: Sekisui House, Ltd.

With the cooperation of: Fukuoka Prefecture, Fukuoka City Board of Education, Fukuoka City Foundation for Arts and Cultural Promotion, Nishi-Nippon Railroad Co.,Ltd., Kyushu Railway Company

展覧会会期:2022年4月23日(土)ー6月19日(日) 会場:福岡市美術館

休館日:月曜日 開館時間:9:30ー17:30(入館は17:00まで)

観覧料:一般1,600円(1,400円) / 高大生1,000円(800円) / 小中生600円(400円) ※( )内は前売料金

チケットは、ARTNEチケットオンライン(<https://artne.jp/tickets>)、ローソンチケット(Lコード81666)等で2022年2月11日(金・祝)午前10時発売

主催:福岡市美術館、西日本新聞社、テレQ 企画協力:朝日新聞社 協賛:積水ハウス

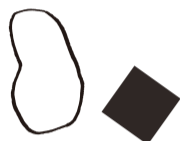
後援:(公財)福岡市文化芸術振興財団、西日本鉄道、九州旅客鉄道

※大学生以下の方はご入場の際、学生証や生徒手帳等をご提示ください。

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名、および特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者、および未就学児は観覧無料。

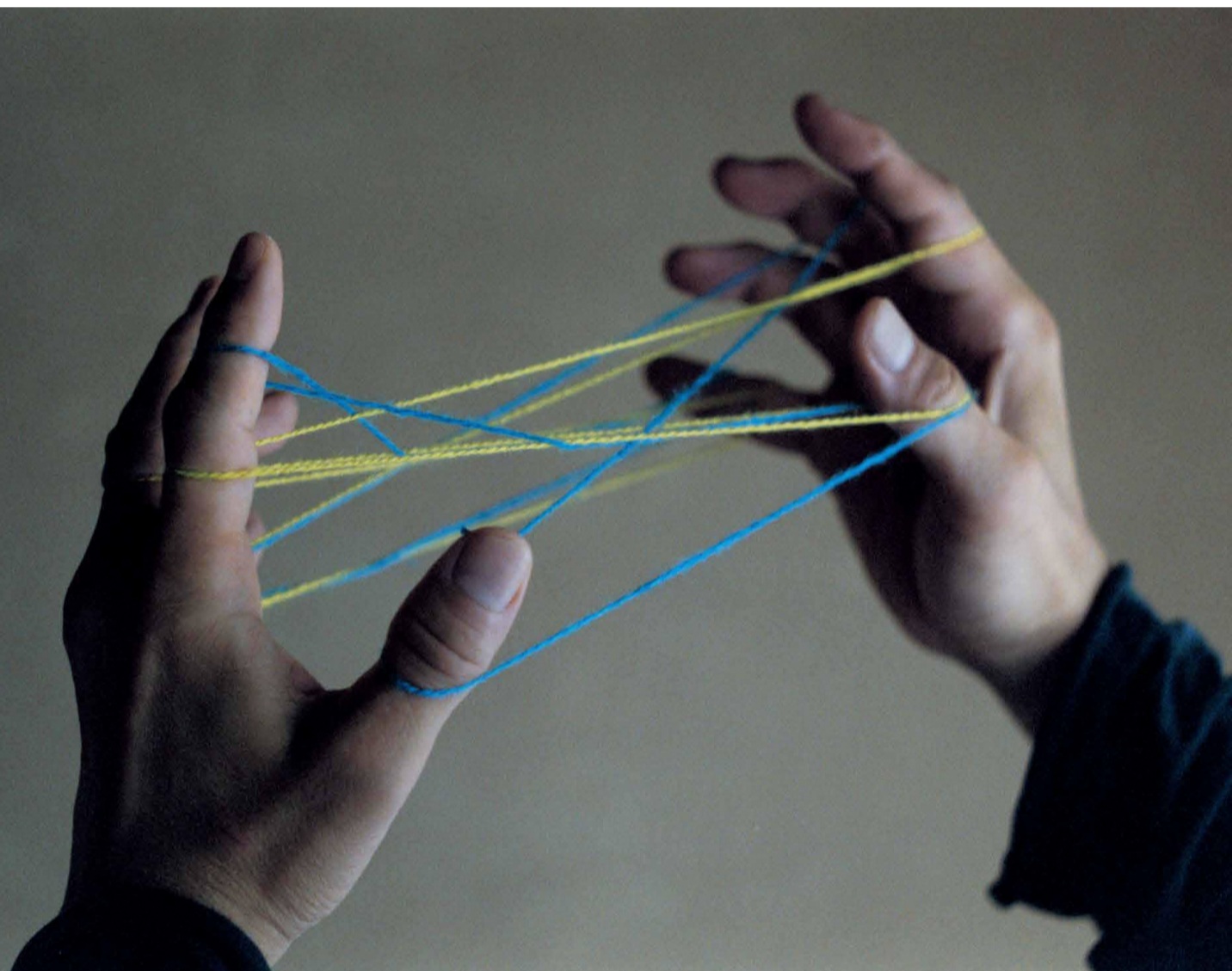
※会期中のチケットは当日料金での販売となります。電子チケット購入の際に各プレイガイドによって各種手数料が発生する場合があります。ご了承ください。

[mina-tsuzuku.jp](http://mina-tsuzuku.jp)



福岡市美術館

FUKUOKA ART MUSEUM



# つづく

はじまり おわり すすみ もどる

心と象のつくとつづく

beginning, ending, enhancing, returning,  
mind and shape, circle of creation goes on...



1



2



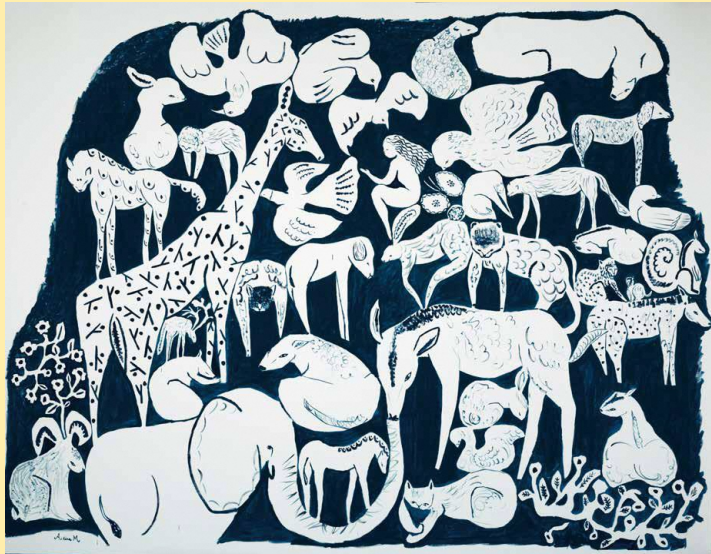
3



4



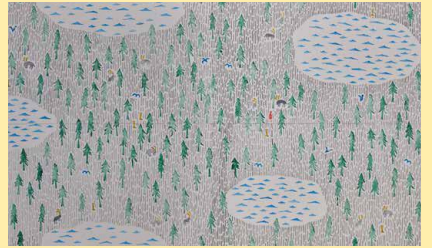
5



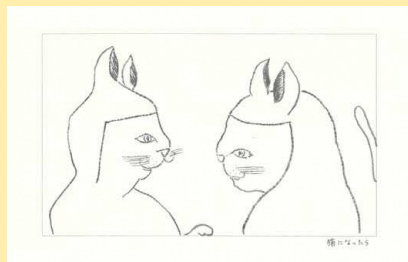
6



7



8



9



10

1 photo: Mitsuo Okamoto / 2 "metsä" 2012-SS photo: Yasutomu Ebisu / 3 "rosy" 2018-19-AW photo: Mitsuo Okamoto / 4 "forest parade" 2012-SS photo: L.A.TOMARI  
5 photo: Ryo Ichii / 6 "life puzzle" 2019 photo: Hua Wang / 7 "ballade" 2007-08-AW photo: Yoshiharu Koizumi / 8 "one day" 原画 2018-19-AW photo: sono (bean)  
9 「猫になったら」朝日新聞・日曜に想う 2021年4月4日掲載 挿画 / 10 "tambourine" 2017-SS photo: Shoji Onuma

デザイナーの皆川明(1967-)が設立したブランド、ミナ ペルホネン。流行に左右されず、長年着用できる普遍的な価値を持つ「特別な日常服」をコンセプトとし、日本各地の生地産地と深い関係性を紡ぎながら、オリジナルの生地からプロダクトを生み出す独自のものづくりを続けてきました。

皆川がミナ ペルホネンの前身となる「ミナ」を立ち上げたのは1995年。「せめて100年つづくブランドに」という思いでファッションからスタートした活動は、その後、インテリアや食器など次第に生活全般へと広がり、現在ではデザインの領域を超えてホスピタリティを基盤にした分野へと拡張しています。そのたゆまぬ歩みは、2020年に25周年を迎え、これからも続いていきます。

本展覧会の「つづく」というタイトルは、文字通りブランドの時間的な継続性を示すものですが、それだけでなく、つながる・連なる・手を組む・循環するなど、モノや人が連鎖し何かを生み出していく生成のエネルギーを想起させる言葉でもあります。

多義的な意味をもつ「つづく」をキーワードに、本展覧会では、生地や衣服、インテリア、食器等のプロダクトに加えて、デザインの原画、映像、印刷物、皆川明の挿絵など創作の背景を浮き彫りにする作品群や資料も併せて展示いたします。ミナ ペルホネンと皆川明のものづくりとその思考をこれまでにない規模で紹介する本展覧会は、私たちの日常生活やその先にある社会の仕組みについて新たな視点と示唆をもたらすことでしょう。

minä perhonen is a brand founded by designer Akira Minagawa (1967-).

Under the brand's concept of "special clothing for everyday life," Minagawa creates fashion with universal value, which does not follow trends and can be enjoyed for many years. Fostering relationships with fabric manufacturers around the nation, Minagawa sticks with his craftsmanship to create products using his own original textiles.

Minagawa started a fashion brand minä in 1995 (the name was changed to "minä perhonen" in 2003) with an aspiration to establish a brand that would continue at least for 100 years. Since then, the sphere of his creative activities has expanded from fashion to home décor, to tableware, and eventually, to all aspects of everyday life. At present, Minagawa's activity is extending into the field based on hospitality, going beyond the realm of design. His endless journey of creation, which marked the 25th anniversary in 2020, will continue further on.

The title of the exhibition, Tsuzuku, literally translates to the "temporal continuity" of the brand. At the same time, the word connotes "connection," "linkage," "joining hands," and "circulation," which conjures the image of creative energy generated by the interaction of people and things.

"Tsuzuku" with multiple meanings as the key word, the exhibition will showcase various aspects of the brand's creation in the gallery. The exhibits will include not only products, such as textiles, clothes, interior goods, and tableware, but also artworks and materials, such as video, printed materials, and Minagawa's original design drawings and illustrations to shed light on what underlies these creations. This is the first exhibition which introduces creativity and philosophy of minä perhonen and Akira Minagawa, and is held on this scale; it will surely offer new perspectives and suggestions on our daily lives and our society.

## EVENT



トークやワークショップなどを予定しております。  
関連イベントの詳細は展覧会特設サイトをご確認ください。  
mina-tszuku.jp

## ACCESS

福岡市美術館 〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6  
TEL: 092-714-6051 <https://www.fukuoka-art-museum.jp/>

- 地下鉄 空港線 大濠公園駅(福岡市美術館口)下車、徒歩10分  
七隈線 六本松駅下車、徒歩10分
- 西鉄バス [行先番号13・140]で「福岡市美術館東口」下車、徒歩3分  
[行先番号6・7・12・113・114・200~206・208]で「赤坂三丁目」下車、徒歩5分  
[行先番号6-1]で「福岡城・NHK放送センター入口」下車、徒歩3分
- 車 福岡都市高速「西公園ランプ」から5分  
福岡市美術館専用駐車場(有料:普通車26台・1時間200円)  
利用時間:午前9時~午後9時(開館日のみ)  
※週末、祝日等は大変込み合います。公共の交通機関をご利用ください。

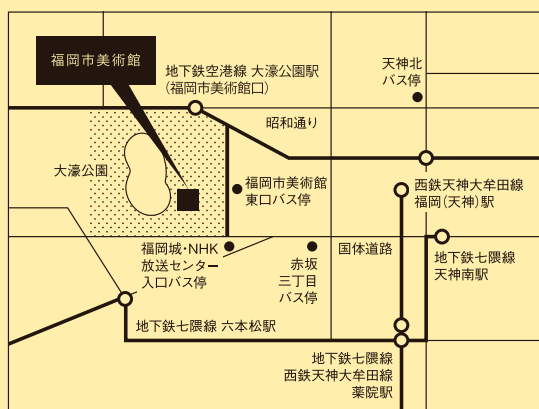
Fukuoka Art Museum  
1-6 Ohori Koen, Chuo-ku, Fukuoka city, Fukuoka prefecture, 810-0051 Japan +81-(0)92-714-6051

By Fukuoka City Subway  
10-minute walk from Exit Ohorikoen (Ohori Park, Fukuoka Art Museum) Station on the Kuko line.  
10-minute walk from Exit Ropponmatsu (Science Museum) Station on the Nanakuma line.

By Nishitetsu Bus  
Bus No. 13, 140: 3-minute walk from Fukuokashi Bijutsukan Higashiguchi bus stop.  
Bus No. 6, 7, 12, 113, 114, 200-206, 208: 5-minute walk from Akasaka 3-chome bus stop.  
Bus No. 6-1: 3-minute walk from Fukuoka Castle Ruins and NHK Broadcasting Center bus stop.

福岡会場で初公開となる作品も展示予定です。

Some works will be unveiled for the first time at Fukuoka Art Museum.



新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じ開催しております。  
・マスク着用などのご来場に関する注意事項、および本展の予定や内容は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染状況等により変更となる場合があります。  
・最新の情報は特設サイト等を通じて随時お知らせいたします。  
必ずご確認の上でご来場頂きますようお願いいたします。  
・本展に関する情報は予告なく変更する場合があります。